

QUARTET

九州大学四国県人会が故郷四国を発信するフリーペーパー、カルテット。

春うらら、
四国をお散歩してみませんか？

vol. 5
2015.4



特集 | 丸亀

QUARTET vol.5

発行日：2015年4月1日(2015年春号)

発行：九州大学四国県人会

Take Free



丸亀市で合宿しませんか？

市内で開催・宿泊する学生合宿を 支援します！

丸亀市合宿等誘致促進事業助成金 対象：延泊数**50泊**以上

市内開催
市内宿泊

+

丸亀城
天守観光

→

1泊あたり@500円
の助成金



welcome to
丸亀合宿!!



丸亀名物 骨付鳥



讃岐うどん

四国Cスタ丸亀

平成27年3月新設。中堅122m。両翼100m(公認野球規則対応)収容人数10,000人。プロ野球のゲームや高校野球の大会にも使用される野球場。屋内練習場完備。

【住所】香川県丸亀市金倉町975番地(普通寺ICより約5分)
【電話】0877-35-8200(丸亀市ホームタウン推進室)

香川県立丸亀競技場

県下で唯一の第1種公認陸上競技場。陸上競技をはじめ、サッカーグリープ等の全国大会や国際大会等に使用されている。メインスタンドは屋根付き。

【住所】香川県丸亀市金倉町830番地(普通寺ICより約5分)
【電話】0877-21-5800(香川県立丸亀競技場)

「丸亀城天守観光」を旅程に含む団体旅行を 助成！

丸亀市団体旅行等誘致促進事業助成金 対象：1団体**20名**以上

泊旅行

丸亀城天守観光+市内宿泊→1団体**30,000円**を助成

日帰り旅行

丸亀城天守観光+市内飲食→1団体**15,000円**を助成

市内で開催・宿泊する全国大会等を 助成！

丸亀市コンベンション支援事業助成金 対象：延泊**100泊**以上

市内開催+市内宿泊→1団体**100,000円**~を助成



石垣の名城 丸亀城

平成27年4月1日より受付開始!! お問い合わせ:丸亀市観光協会 0877-22-0331 丸亀市観光協会 [検索](#)

QUARTET

四重奏、カルテット。

vol.5

2015年 春号

CONTENTS

特集

01 香川県 丸亀市

丸亀城
中津万象園
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
骨付島
讃岐うどん
丸亀うちわ
まちの駅 秋寅の館

09 四国's impression

11 コラム 台湾 嘉義と四国 松山

12 編集後記

2015 年度 四国県人会

新入生歓迎会

4月15日(水) 18:30 ~
23日(木)

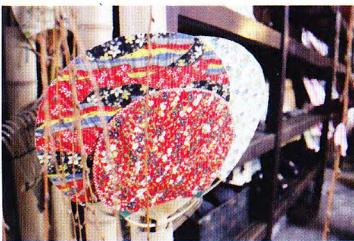
場所：九大新町公民館

みんなで“うどんパーティ”します！

丸亀うちわ

丸亀の特産としてよく知られているのがこの「丸亀うちわ」である。うちわ作りについては7ページに掲載されている。

撮影場所：まちの駅 秋寅の館



表紙の写真>>>

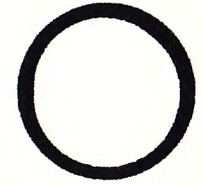
SHIN
KURUSHIMA
SOMETHING NEW?

船
ぞ
つ
た
。

乗
り
物
は
、

は
じ
め
て
創
っ
た

人
類
が
、



はるがた昔。

この乗り物を最初に創った
ひこがの名も無き挑戦者が
ひれぼの夢と情熱をもち
その船づくりは挑んだのが、
わろしちちは、知っている。

彼の眼前にひこまで連続
蒼く美しく広がる水平線が
その船づくりは臨む情熱を
ひれぼは強く掻き立てたのが、
わろしちちは、知っている。

何千年もの時代が過ぎても
その挑戦者の夢と情熱とは、
わろしちち技術者達の胸に
今も変わらぬ、生きている。

船造りには、ロマンがある。


でっかい仕事で、
いこうじゃないか。


【本 社】東京都千代田区丸の内1丁目7番12号 サビアタワー13階
【大西工場】愛媛県今治市大西町新町甲945番地
TEL. 0898-36-5511 E-mail jinzai@skdy.co.jp

見上げた、仕事だ。
 新来島どつく
<http://www.skdy.co.jp>



人口：11万人
面積：111.8km²

 [高松駅から]
予讃線特急で約20分

 [高松市から]
高松自動車道で40分

丸亀城

住所：香川県丸亀市一番丁
電話番号：0877-24-8816(市文化観光課)
開館時間：《天守》午前9時～午後4時30分
 《入館は午後4時》
 《大手一の門》午前10時～午後3時30分
休館日：《天守》なし
 《大手一の門》雨天時・毎週水曜日
入場料：大人 200円, 小人(小・中学生) 100円



丸亀城は讃岐国、現在の香川県丸亀市にあった日本の城である。別名、龜山城、蓬萊城ともいう。丸亀城は、生駒親正が慶長2年から5年がかりで築いた。丸亀市街地の南部に位置する龜山を利用し、縄張りほぼ四角形で龜山の廻りを堀(内堀)で囲む、輪郭式の平山城である。「石垣の高さ、美しさ」から(財)日本城郭協会が選定した「日本の100名城」にも選ばれている。

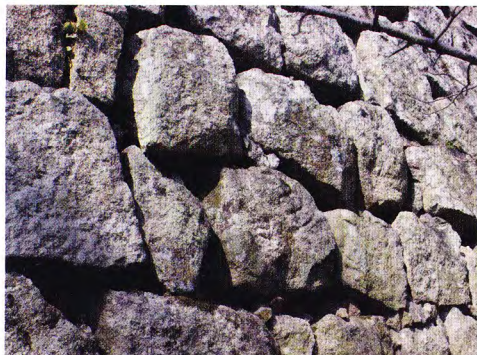
その大きな特徴といえば、やはり日本一大きな石垣と日本一小さな天守閣であろう。内堀から天守へ向け、4層に重ねられた丸亀城の石垣は、高さにして約60メートル、日本一の高さを誇る。また、扇の勾配で知られる曲線は大変美しいものである。石垣には全部で140の刻印が見つかっている。誰が切り取った石か、どこから切った石かなどが分かるようにしたためと考えられて



丸亀城からは讃岐富士を望むことができる。



駐車場からは小さな天守閣がかわいらしく見える。



丸亀城の石垣

いる。また石垣の積み方にも様々な工夫がこらされていて、打ち込みハギをはじめ、野面積み、切り込みハギなど様々な石積みが見られる。丸亀城にいったときはぜひ探してみてもらいたい。さらに、この石垣に使われた石はもとも大阪城の石垣として使われるはずであったが、一つ一つの石が小さかったため使うのをとりやめられたことでも知られる。白亜の二重三層の独立式木造天守は重要文化財に指定されている。

他にも、傾斜が急で、時々立ち止まって振り返りたくなることから、いつしかそう呼ばれるようになった見返り坂や悲しい伝説が残されている二の丸井戸なども見どころのひとつである。天守閣にたどりつくまでの道はなかなか急であり大変である。運動不足の方はご注意ください……。



住所：香川県丸亀市浜町80-1
 電話番号：0877-24-7755
 開館時間：10時～18時（入館は17時30分まで）
 休館日：年末（12/25～31）及び展示替期間
 入場料：常設展…個人/一般 300円、大学生 200円
 企画展…その都度定めます。

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

丸亀駅を降りると一際目立つ建物がある。入り口には大きなオブジェが設置されており、何かモダンな雰囲気を出している。それは丸亀市猪熊弦一郎現代美術館だ。ここには、生涯にわたって絵を描き続けた猪熊弦一郎の作品が日々展示されている。

猪熊弦一郎は、1902年（明治35年）に香川県高松市に生まれ、少年時代を香川で過ごし、その後は東京、パリ、ニューヨーク、さらに晩年は東京とハワイを行き来し、作品を制作した。彼の作品は、身を置く環境が変わるごとに大きく変化し、これは本当に一人の画家が描いたものだろうかとか目を疑うほどだ。ハワイにいるときは明るい色調を好んで用い、最愛の妻が亡くなった時には、「顔」をいくつも描き、まるで自身の寂しさを物語っているようである。



建築家・谷口吉生による美術館の建物自体も魅力の1つである。

また、画風が具象になったり、抽象になったりと、年を経るにつれ大きく変化する。このように生涯にわたって画風が多彩に変化していった点は、猪熊弦一郎の70余年に及ぶ画業における大きな特徴の一つである。「絵描きには定年がない。死ぬまで未知のものに向かって走り続ける。それが画家の宿命というものだ」(※)という言葉の通り、常に新しい環境に身を置くことや自分にしか描けない未知の美しさや新しさを追い求めて果敢に挑戦し、生涯倦まず弛まず描き続けた猪熊の姿勢は作品を見る私たちにも勇気を与えてくれるだろう。皆さんもぜひ一度ここを訪れ、作品を通して猪熊弦一郎の生涯を追ってみてほしい。

※出典：私の履歴 猪熊弦一郎
 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 財団法人ミモカ美術振興財団



中津万象園

住所：香川県丸亀市中津町25-1
 電話番号：0877-23-6326
 開館時間：9時30分～17時
 休館日：無休
 入場料：大人 1,000円、高大生 600円、
 小中生 400円（丸亀美術館入館料含む）

万象園は森羅万象、即ち宇宙に存在するすべてのものを意味し、それらを合わせ持つ名園といわれる。琵琶湖をかたどった八景池が掘られ、帆、雁、雪、雨、鐘、晴嵐、月、夕映と近江八景になぞらえ名付けられた島々が浮かび、橋で巡る事ができる。1,500本余りの鮮やかな松の緑と、満開を迎える梅の花とのコントラストは絶景である。中津万象園の特徴は樹齢600年の「笠松」と最古の茶室「観潮楼」である。ラビュラの森を彷彿させる巨大な根に、直径15mの緑の笠が被せられている笠松を見て圧倒されない者などいるのだろうか。

景色だけでなく悠久の歴史のロマンも感じて欲しい。この庭園は丸亀二代目藩主が貞享5年（1688年）別邸として作らせたものである。池に浮かぶ茶室「観潮楼」は日本最古の現存する茶室である。茶室からは笠松と池がみえる。今でもかつての殿様と同じ景色を見ることができののだ。比較的観光客の少ない平日の昼間に行けばお殿様気分を味わえるだろう。

併設されている美術館はミレーやルソーなどバルビゾン七星の絵画を集めた美術館として全国的に有名で、コロ、クールベなど自然を愛した自然主義の巨匠たちの絵画も数多く展示されている。



緑の多い敷地内に鳥居の朱色が映える。



池に浮かぶ茶室「観潮楼」

やっぱり、うどんも。

丸亀駅から徒歩約2分のところにあり、非常に足が運びやすい石川うどん。このうどん店の一番の特徴は、化学調味料や保存料を一切使っていないところだ。

素材本来の味を十二分に引き出すことにより、こだわりの味を生み出している。そのため、石川うどんでは仕込みにかかる時間が長い。この店のおすすめは天ぶらうどんである。海老の天ぶらや季節や素材にこだわった旬の野菜の天ぶらであり贅沢なものになっている。さらにデザートとしてこれまた無添加のチョコレートも食べられる。さて、うどんの方はというと、麵はツルつとすれ食感もよく、とても食べやすかった。だしもこれまで飲んだことのないような素晴らしいものであった。



香川へ来たなら
隠れた名店へ。
讃岐うどん



石川うどん

香川県丸亀市福島町 54-8

☎0877-21-7767

【営業時間】[平日]11:00~15:00、
夜営業[金、土]11:00~15:00、
17:30~20:30頃【定休日】火曜
【アクセス】JR予讃線「丸亀」駅
から徒歩3分



「石川うどん」店主さん ▶

店主さんの話によると、様々な素材からだしをとっていることはもちろん、温度にも気を付けることによつておいしくなっているとか。実際違う温度で沸かしただしを飲み比べさせてもらったが、味の濃さが全く違っていて驚かされた。添加物が食事にたくさん入っている現代において珍しい無添加うどん。ぜひ食べてみてはどうだろうか。



知ってます？丸亀の名物。

骨付鳥

香川はうどん、だけじゃないんです。



骨付 丸亀鳥

香川県丸亀市通町 87-2

☎0877-21-2501

【営業時間】17:00~20:00【定休日】
日曜【席数】42席【駐車場】1台【ア
クセス】丸亀駅より500m(徒歩6
分、車で4分)、バス停通町より
100m

文：板東芳朗

ここ丸亀は骨付鳥の聖地である。骨付鳥とは塩コショウとニンニクで下味付けした巨大な鶏もも肉を焼いたもので、居酒屋でよく見かける。

丸亀市で最もおいしい骨付鳥が食べられる店の一つ、ここ「丸亀鳥」は丸亀駅より南へ徒歩10分のところにある。親鳥と若鶏の二種類があり、親鳥は歯ごたえがあり皮のバリバリ感がたまらない。若鶏は非常にやわらかで、かぶりつくとドバツとあふれる肉汁は至福のひとつをもちたしてくるであろう。シャキシャキのカイワレ大根は鶏肉と相性抜群！またんにくの香りと数種類のスパイスが食欲をグングン増進させる。

アットホームな雰囲気、何時までも居座りたいという気分させるおばあちゃん家のようなお店だ。香川に来た時は昼はうどん、夜は丸亀鳥に決まり！である。



丸亀市は全国のうちわの生産量の約9割を占める「うちわの名産地」である。丸亀うちわは柄と骨が一本の竹で作られていることが特徴。

私たちは丸亀市にあるうちわの港ミュージアムを訪れた。ここでは、丸亀うちわの展示や職人さんたちの実演、うちわの販売などを行っており、丸亀うちわの歴史を感じることができ。また、うちわ作り体験もできるので訪れた際は、自分だけのオリジナルうちわを作ってみて欲しい。今回、県人会メンバーも思い思いに自分のうちわを作ってみた。

丸亀に伝わる伝統工芸品 丸亀うちわ

①【のり付け】 刷毛で表裏塗る。
②【空気抜き】 たわしで擦って骨と紙を綺麗に貼り付ける。
③【型抜き】 木槌で打ち、型に抜き取る。
④【へり紙巻き】 うちわの周りのへり紙を巻く。紙とへり紙の色の組み合わせで、自分オリジナルのうちわが出来る。
⑤【完成】

初めに自分の好きな絵柄の紙を選ぶ。
竹の骨にハケを使ってのりを付け、紙を貼り合わせる。そして骨の先端に向け、たわしをかけて空気を抜く。
のりが乾くまでしばらく休憩。この間にうちわのへり紙とみみ紙の色を選んで、館内を見て回ろう。
うちわが乾いたら、次はいよいよ型抜き。たたき鎌の位置を調節して木槌で叩いてうちわの形に切る。このとき、思い切り叩くのがポイント。
最後にへり紙をまき、みみ紙を貼ってうちわの仕上げをして完成。



うちわの港ミュージアム

香川県丸亀市港町 307-15
☎0877-24-7055
【開館時間】9:30～17:00 (入館は 16:30迄)
【休館日】月曜 (祝日の場合は翌日休館)、年末年始 (12/28～1/4) 【入館料】無料【駐車場】乗用車 約 50 台、大型バス駐車可能【アクセス】丸亀駅より 徒歩 15 分

文：新居田晴香

この辺で、
ちよつと一息。

丸亀のお土産として「おいり」を手に入れ商店街を歩いていると、レトロな気になる建物があったので、ふらりと立ち寄ってみた。入ってみると、どこか懐かしい、ストロブの香りが漂う。なんの場所なんだろう、と思っていると、中にいた近所の方々がお茶とお菓子を出して迎えてくださった。

「秋吉黄吉商店」の本社だった場所をまちの駅として再活用し、休憩所やギャラリー、集会所などに利用できる場所になったらしい。
旅の疲れが癒されるような、都会では味わえない、ゆつたりとした時間が流れていた。



丸亀の嫁入り道具に欠かせないお菓子。完成するのに1週間かかる。遠方からの取り寄せも多く、嫁入りに必要なのに、売り切れ...ということも。一口噛むとすーっと溶け、優しい甘さが残る。



旅の土産
おいり

丸亀の嫁入り道具に欠かせないお菓子。完成するのに1週間かかる。遠方からの取り寄せも多く、嫁入りに必要なのに、売り切れ...ということも。一口噛むとすーっと溶け、優しい甘さが残る。

まちの駅 秋寅の館

丸亀市通町 28 番地
☎0877-22-2371
【開館時間】10:00～17:00 火・木・土 曜
はカフェコーナー開設【休館日】水曜、年末年始など【アクセス】丸亀駅より 徒歩 5 分





はるな(福岡) エフィ(マレーシア)



コガワカナさん(福岡)



秀野(愛媛) 野副(佐賀) 西山(福岡)



有馬(鹿児島)



わらびもち、へやみーや(福岡)



てんし(宮崎)



やまなか(福岡)



乳輪侍(東京)



ぎょーとく(福岡)



老後を考える会(新潟、宮崎、福岡)



さわ(福岡) みきてい(宮崎)



さとうけい(奈良)



莉奈の家で遊びましょう



まささんの後輩!(京都)



キング牧師(鹿児島)



ぼうち(鹿児島) みやむー(愛媛→熊本)



りゅう(長崎) ちいだい(福岡)



家又家の店員(沖縄)とバレーカスです(長崎)

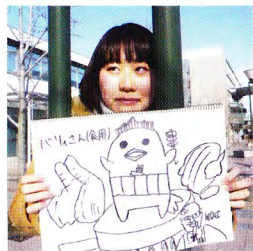
九大生に聞きました



四国's impression

九大生のみなさん、
四国の印象、教えてください！

Special Thanks!
伊都、箱崎、馬出キャンパスの皆様



まいていー(福岡)



ななみ、まりん、かみ(福岡)



ミスターコン6位(鹿児島)



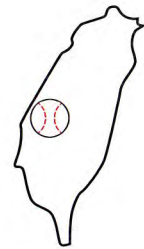
右左(福岡)



けんけん(愛媛だいちゃん(福岡)



うせい、かずき



台湾 嘉義と四国 松山



今年1月、台湾で制作された映画『KANO 1931―海に向かうの甲子園―』が日本で公開された。この映画は、日本統治時代における台湾の嘉義農林学校弱小野球部が1931年甲子園に出場、決勝へと進出する奇跡の実話だ。3時間を超える上映時間であるが、あつという間。気がつけば自分も甲子園の客席で嘉義農林を応援していた。非常に爽やかな感動を覚える映画であった。

映画のタイトルとなっている『KANO』とは、嘉義農林学校の略称「嘉農」を表す。嘉農の野球部は、台湾原住民、漢人、日本人の三民族混成チームであった。それぞれの民族の強みを生かし、弱小野球部を甲子園決勝へと導いたのは、近藤兵太郎監督であった。

実はこの近藤監督、愛媛県松山市宣町の出身である。近藤監督は1918年、母校である愛媛県立松山商業学校の野球部初代監督に就任、翌年には全国大会へベスト8に導くなど、松山商業の第一期黄金期を築いた人物だ。1928年末より創設されたばかりの台湾の

嘉義農林学校野球部を指導し始め、1931年に正式に嘉義野球部監督に就任。同年夏の全島大会で優勝、甲子園大会で準優勝という快挙を成し遂げる。その後も四度、嘉農を甲子園へと導く。戦後は松山に帰郷し、新田高校や愛媛大学野球部の監督なども務めた。

1月に松山市内にある近藤兵太郎監督ゆかりの地を訪ねてみた。最初に訪れたのは、松山市市坪にある坊ちゃんスタジアム。昨年10月、嘉農を準優勝へと導いた近藤監督を顕彰するモニュメントが建立された。松山商業や新田高校の野球部OBらが、野球王国愛媛の礎を築いた近藤監督の功績を伝えるために建立した。除幕式には台湾の嘉義市長や嘉農野球部OB、映画に出演した永瀬正敏や曹佑寧らも招かれた。

次に訪れたのは、松山市御幸にある千秋寺だ。近藤監督はこの寺に眠っており、お墓参りをする事ができる。現在でも松山商業や新田高校、嘉農の野球部OBらがお墓参りに訪れるという。

ぜひ『KANO』を観て、台湾代表が甲子園に出場していたこと、そしてその代表であった嘉義農林学校野球部を率いたのが松山と深いつながりのある近藤兵太郎監督であったことを知って欲しい。そうして松山を訪れる際には、上に紹介した近藤監督ゆかりの地をぜひ訪ねてみてほしい。



▲モニュメントは御影石製で、立派な硬式野球ボールの形をなしている。近藤監督が野球の心構えとして唱えていた言葉「球は霊なり」と彫り込まれている。

右/側面には近藤監督の写真と辞世の句「球を遂ひつ球に遂はれつたまの世を終わりに永久に霊石の下」が刻まれている。
左/近藤監督が眠る千秋寺。



『秋寅の館』の前で館長さんたちと一緒にうどんのポーズ!

編集後記

読んでいただき、ありがとうございます。おかげさまでカルテットも四国2周目に突入、香川へと戻って参りました!今号は香川県丸亀市の特集。楽しんでいただけたでしょうか?少しでも四国の魅力を感じていただければ嬉しいです♪(A.I.de)最後までお読みいただきありがとうございます。書きたいことがたくさんありすぎて取まらない……。丸亀の良さ、伝わったでしょうか?実は私は今回の取材まで骨付鶏の存在を知らなかったのですが、丸亀には骨付鶏のゆるキャラ(骨付じゅうじゅう君)もいます!日本一小さな天守、駅前の光る石、UDONの舞台など、感動しつつも、少しふふっと微笑んでしまうものがたくさんありました。おすすめのお店を教えてくださいました! (タカイ) 手に取っていただき、ありがとうございます。カルテット製作初参加だったのですが、四国出身と大声で言えないなと思ってしまうほどに自分の知らない四国を知ることができてとても楽しかったです。広告協賛をいただいた方々、取材に応じてくださった観光地やお店の方々や九大生のみなさん、ありがとうございました。このカルテットで四国の魅力がひとつで多く伝わればいいな、と思っております。(かわんちゅ)

QUARTET vol.5

発行日 2015年4月1日
発行 九州大学四国県人会

編集長 井手梓 (文4年/愛媛)

制作 QUARTET 編集部
新居田 晴香 (工・物科4年/愛媛)
川人 萌 (芸・工業3年/徳島)
高井 理恵子 (21cp3年/愛媛)
白石 直輝 (工・地環2年/愛媛)
高岸 拓 (工・電情2年/徳島)
板東 芳朗 (工・物科2年/徳島)

協賛企業 株式会社 新来島どっく
丸亀市観光協会
九大前不動産
骨付 丸亀鳥

記事・広告に関するお問い合わせ先

QUARTET 編集部 publish.quartet@gmail.com

この冊子は発行趣旨にご賛同頂いた企業様からの広告協賛により制作されています。本誌の情報は2015年3月現在のものです。本誌掲載の記事・写真等の無断転載を固く禁じます。